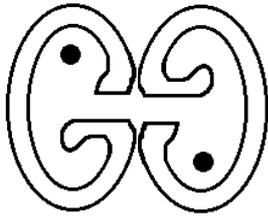


ISSN 1349-9122

# 日本双生児研究学会ニュースレター



《第 55 号》

Newsletter of Japan Society for Twin Studies

2013 年 12 月発行

## 目次

日本双生児研究学会第 28 回学術講演会のご案内	2
論文・抄録紹介	5
幹事会報告	5
編集後記	5

### 会員募集のお知らせ

入会を希望される方は郵便振替用紙に口座番号(00910-2-253840), 加入者名(日本双生児研究学会)をご記入の上, 年会費 (3,000 円) をご送金下さい。また, 通信欄に所属・所属の住所・電話番号・FAX 番号・E-mail 等をお書き添え下さい。

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1 - 7

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

日本双生児研究学会事務局 (早川和生)

TEL & FAX : 06-6879-2550

E-mail : hayakawa@sahs.med.osaka-u.ac.jp

<http://plaza.umin.ac.jp/twin/>

## 第 28 回学術講演会のご案内

日時：2013 年 1 月 25 日（土） 午前 9 時 25 分～午後 4 時 45 分

会場：大阪大学中之島センター 佐治敬三メモリアルホール（10F）および 507 講義室  
〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-53

アクセス地図：<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>

後援：大阪大学大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター

### 1. 講演会プログラム

9:25～9:30 開会の辞 早川和生会長

#### ① 一般演題 午前の部

1) 9:30～9:45

卵性別ふたご出産率と死産率 1999～2008 年

今泉洋子<sup>1</sup>, 早川和生<sup>1</sup>

1 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

2) 9:45～10:00

行政と当事者の協働による多胎支援事業の効果 — 神戸市多胎児子育て教室 5 年間の取り組みから見えてきたもの —

天羽千恵子<sup>1</sup>, 大岸弘子<sup>1</sup>, 宇多圭以子<sup>1</sup>, 岡本吏江<sup>1</sup>, 森光子<sup>1</sup>, 山本理恵<sup>1</sup>

内野栄子<sup>2</sup>, 濱裕子<sup>2</sup>, 密山裕未<sup>2</sup>

1 ひょうご多胎ネット

2 神戸市こども家庭局こども企画育成部こども家庭支援課

3) 10:00～10:15

看護職の行うふたご家庭への支援に関する背景要因

谷口真紀<sup>1</sup>, 高田昌代<sup>1</sup>

1 神戸市看護大学

4) 10:15～10:30

気分や感情と言語性エピソード記憶における遺伝・環境構造

田中晴佳<sup>1,2</sup>, 尾形宗土郎<sup>1,2</sup>, 大村佳代子<sup>2</sup>, 本多智佳<sup>2</sup>, 早川和生<sup>1,2</sup>, 大阪ツインリサーチグループ

1 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 総合ヘルスプロモーション科学講座

2 大阪大学大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター

5) 10:30～10:45

脳磁図を用いた高齢一卵性双生児における運動関連脳磁界の類似性

荒木俊彦<sup>1</sup>, 菅田陽怜<sup>2</sup>, 平田雅之<sup>2</sup>, 柳澤琢史<sup>2</sup>, 大西舞<sup>1</sup>, 大村佳代子<sup>3</sup>, 本多智佳<sup>3</sup>  
早川和生<sup>3</sup>, 依藤史郎<sup>1</sup>

1 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 機能診断科学

2 大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学

3 大阪大学大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター

6) 10:45～11:00

**聴力と認知処理速度に共通する遺伝要因**

尾形宗士郎<sup>1,2</sup>, 加藤憲司<sup>1,3</sup>, 田中晴佳<sup>1,2</sup>, 早川和生<sup>1,2</sup>

1 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

2 大阪大学大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター

3 神戸市看護大学

**② 特別講演：11:10～12:30**

演者：中室牧子先生（慶應義塾大学総合政策学部准教授）

演題：双生児データを用いた教育経済学的分析

**③ 昼食兼懇親会：12:30～13:45**

**④ 総会：13:45～14:15**

**⑤ 奨励賞受賞記念講演会：14:15～15:00**

演者：林 知里先生（大阪市立大学大学院看護学研究科准教授）

**⑥ 一般演題 午後の部**

7) 15:10～15:25

**双生児研究を続けて**

天羽幸子<sup>1</sup>

1 ツインマザーズクラブ

8) 15:25～15:40

**抑うつと性格の相関に関連する要因の行動遺伝学的検討**

高岡亮太<sup>1</sup>, 石垣尚一<sup>1</sup>, 尾形宗士郎<sup>2</sup>, 早川和生<sup>2</sup>, 矢谷博文<sup>1</sup>

1 大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座 クラウンブリッジ補綴学分野

2 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

9) 15:40～15:55

**中・高校生の双生児の性格と個性について**

福島昌子<sup>1</sup>, 荒井恵里子<sup>1</sup>, 江頭双美子<sup>1</sup>, 加藤竜一<sup>1</sup>, 千葉美奈子<sup>1</sup>, 對比地覚<sup>1</sup>, 橋本渉<sup>1</sup>, 杉浦祐子<sup>1</sup>

1 東京大学教育学部附属中等教育学校

10) 15:55～16:10

**思春期・青年期における心理社会的ストレス負荷に対する生理的反応，情動調節機能及び心理社会的不適応の関連**

出野美那子<sup>1</sup>, 立川公子<sup>2</sup>, 藤澤啓子<sup>3</sup>, 田中麻未<sup>4</sup>, 安藤寿康<sup>3</sup>

1 武蔵野大学通信教育部

3 慶應義塾大学文学部

2 武蔵野大学人間科学研究所

4 千葉大学社会精神保健教育研究センター

11) 16:10～16:25

**生殖補助医療によって双胎妊娠した女性が妊娠中に母親像を形づくるプロセス**

藤井美穂子<sup>1</sup>

1 埼玉医科大学保健医療学部

12)16:25～16:40

生殖補助医療によって双胎妊娠した女性が出産後に母親像を形づくるプロセス

藤井美穂子<sup>1</sup>

<sup>1</sup>埼玉医科大学保健医療学部

16:40～16:45 閉会の辞

## 2. 会費について

参加費：会員 2,000円

双生児の父母・研究協力者 500円（資料代実費、1家庭当たり）

懇親会費：2,000円（事前申し込み）

## 3. 託児所について

講演会当日、託児所設置を予定しています。ご希望の方は1月10日までに、

[kkato@tr.kobe-ccn.ac.jp](mailto:kkato@tr.kobe-ccn.ac.jp) 加藤憲司（神戸市看護大学）

へ、託児を希望されるすべてのお子様の ①月齢・性別、②（必要に応じて）特に注意しなければならないこと、を明記のうえ、お申し込みください。なお希望者数やお子様の状況によっては、託児についてご相談をさせていただく場合やお引き受けできない場合があります。

## 4. 交通のご案内（ウェブサイトも併せてご覧ください）

<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>



新幹線でお越しの方は

- (1) 「JR新大阪駅」からタクシー（約30分、3,000円程度）
- (2) 「JR大阪駅」から市バス（53、75系統田蓑橋下車すぐ）
- (3) 「JR大阪駅」からタクシー（約10分、1,000円以内）
- (4) 地下鉄御堂筋線で「淀屋橋駅」下車。6番出口から徒歩16分。

※タクシーでお越しの際は、近隣施設や建物に中之島センタービル等類似した名称の建物がございますので、「**大阪市立科学館 北側**の『大阪大学中之島センター』」とお伝えください。

## 論文・抄録紹介

### Development of Body Mass Index of Japanese Triplets From Birth Until the Onset of Puberty

Yoshie Yokoyama,<sup>1</sup> Janne Pitkaniemi,<sup>2</sup> Jaakko Kaprio,<sup>2,3,4</sup> and Karri Silventoinen<sup>5</sup>

(1 Department of Public Health Nursing, Osaka City University, Japan

2 Hjelt Institute, Department of Public Health, University of Helsinki, Finland

3 Department of Mental Health and Substance Abuse Services, National Institute for Health and Welfare, Finland

4 Institute for Molecular Medicine, University of Helsinki, Finland

5 Population Research Unit, Department of Social Research, University of Helsinki, Finland)

**Keywords:** triplet, birth weight, maternal body mass index

**Abstract:** We aimed to analyze the characteristics of development of relative weight in Japanese triplets from birth until 12 years of age. Data were collected through a mailed questionnaire sent to mothers of triplets asking for information recorded in medical records. Altogether we had information on 1,061 triplet children of 354 mothers born between 1978 and 2006. For these births, data on triplets' height and weight growth, gestational age, sex, parity, and maternal age at delivery were obtained from records in the maternal and child health handbooks and records from the schools where children receive health check-ups. In addition, information on maternal height and weight was obtained. Triplets have a lower ponderal index at birth and lower body mass index (BMI) compared with the general population until 12 years of age, except for the period during 1 and 3 years of age. Moreover, birth weight had the strongest contribution to BMI of triplets until 6 years of age. After 9 years of age, maternal BMI was a significant factor affecting BMI of triplets. (Twin Research and Human Genetics. Volume 16 Number 4, pp.861-868, August 2013)

## 日本双生児研究学会 2013年第2回幹事会議事録

日時：2013年9月27日 15:00～15:40

場所：大阪大学医学部保健学科棟2階小会議室

出席：安藤寿康、加藤憲司、杉浦祐子、早川和生、横山美江、

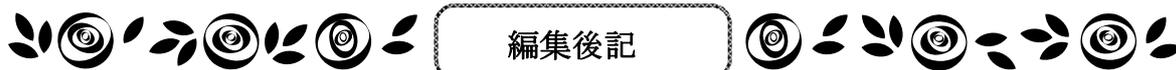
欠席：大木秀一、小野寺勉、加藤則子、志村恵、菅原ますみ、野中浩一

1. 報告事項：

- 1) ニュースレターの発行・・・事務局より第54号の発行が予定通り実施されたとの報告があった。
- 2) 日本双生児研究学会奨励賞授与候補者について・・・応募締切日までに推薦のあった候補者1名について奨励賞選考委員の幹事4名で慎重審議の結果、全員一致で林知里氏（大阪市立大学、准教授）の受賞が承認されたとの報告があり、幹事会にて決定された。
- 3) 第28回学術講演会の開催について・・・加藤憲司学術集会長より準備の進捗状況が報告された。また特別講演で予定していたハーバード大学のDr. Mucci 准教授が学内事情により来日が困難になったことから別の候補者を検討中との報告があった。

2. 審議事項：

- 1) 次期役員選挙について・・・2014年～2017年が任期の幹事選挙の実施要項・選挙管理委員会について審議検討され、選挙管理委員長は横山幹事とし、加藤（憲）幹事と本多会員（事務局）が選挙管理委員会として次期役員選挙を実施する事となった。
- 2) 第29回学術集会について・・・学術集会長に志村幹事（金沢大学）が推挙され、ご本人の了承も得て第29回学術集会を開催することが決定された。



編集後記

今年も早いものでもう師走、会員のみなさまにはお変わりなくご健勝のことと存じます。第28回学術講演会（大会長 加藤憲司先生）のプログラムを中心として編集した『ニュースレター』をお届けします。みなさま、第28回学術講演会に奮ってご参加ください。

編集委員 志村恵（金沢大学）横山美江（大阪市立大学）